

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	NO.B-1	調査位置		北緯	36° 51' 56.0000"
発注機関	栃木県日光土木事務所 河川砂防部			東経	139° 23' 19.0000"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
調査期間	2008-09-25 ~ 2008-09-29			コア鑑定者	
ボーリング責任者					
孔口標高	1355.52 m	角度		地盤勾配	鉛直 90°
総掘進長	9.01 m	使用機種	試錐機	ハンマー	ポンプ
		エンジン			

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m)	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数 (0, 10, 20)	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10				
1		1.15		GS-B	紫褐灰	中くらい		崖錐性堆積物。礫径10から50mm主体。コア長5から55cmの転石混じる。粘土混じり砂礫主体。礫間に間隙見られる。		1.15	4	5	5	14					09/24
2	1353.42	2.10		GS-C	紫褐灰	緩い		崖錐性堆積物。礫径10から50mm主体。礫間10cm程度の間隙あり。間隙に粘土分を含む粗粒砂充填全体に緩い状態。含水比は下位から中位。		2.25	2	12	13	7	4				
3		2.57								3.15	2	11	2	2	6				
4		3.50								4.15					19				
5	1350.52	4.60		Ry	紫褐灰	非常に密な		コア長8から25cmの短柱状主体。亀裂に沿って変質する。5.30mやや風化し、漏水する。コアは硬くハンマーで叩くとやや高い音。6.0から7.10m間、コア長8から39cm。岩質硬し。7.10mよりコア長5から30cm主体。所々、亀裂や多く岩片状コア挟む。		4.45	5	7	7	19					09/26
6		5.00								5.02					>50				
7		6.00								6.02					>50				
8		7.00								7.02					>50				
9	1348.51	4.41								8.00					>50				
		9.01								8.03					>50				
										9.00					>50				
										9.01					>50				